

12月7日 瑞子連ドッチボール交流会ボランティア



本部席で試合結果の集計を行いました。

恒例の瑞子連ドッチボール交流会が、今年12月7日に行われました。瑞子連は、現在の中学生も小学生の時に世話になった組織です。大人と役員と共に中学生にもぜひ運営に携わってもらいたいということで、ボランティアの協力依頼がありました。

当日は市内3校からボランティア参加者がありました。瑞浪北中からは13名の生徒が参加をし、本部席で結果の集計や各コー

トの試合結果報告、賞品の準備などに積極的に取り組みました。中には、小学生の時にこの大会に出場した生徒もあり、自分たちがそのときに楽しませてもらった恩返しをしようと参加した生徒もいたようです。

陰で一生懸命動いて交流会を支えた中学生の活躍は、瑞子連の役員の方にも強く印象付いたようです。最後の閉会式では、司会者が「それでは本日手伝ってくれた中学生を紹介します」と言われ、一人一人が自分の名前を語る時間を設けてくださいました。そして最後に会場にい



試合の進行に貢献しました。



賞品の準備も中学生がやりました。

る全員が、参加した中学生に拍手を送ってくださいました。瑞子連の会長からもねぎらいの言葉をいただきました。

このボランティアは、これまでのボランティアと少し違った意味合いをもっています。それは自分たちの後輩たちのために奉仕したということです。この日の中学生ボランティアの姿を、この先忘れない小学生

もいることでしょう。その小学生たちがやがて中学生になったとき、同じようにボランティアとして参加してくれたら大変喜ばしいことだと思います。中学生がボランティアのバトンを小学生に渡したと言えるのではないのでしょうか。



小学生の前に整列した中学生ボランティアたち